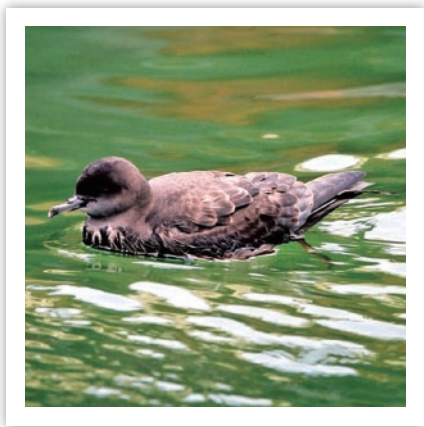




ふるさとの自然 (63)

地球を大きく渡る鳥 ハシボソミズナギドリ

○海面を飛ぶグライダー

ハシボソミズナギドリはハトぐらいの大きさで、全身黒褐色の海鳥です。翼は大変細長く、伸ばすと1mにもなります。この長い翼に風を受け、滑るように海面を飛ぶ姿はグライダーのようです。餌を見つけると次々と海中に飛び込み、小魚やイカ、オキアミなどを食べます。海上で生活しているので見掛ける機会はあまりありませんが、市内の海にもすんでいます。

○飢えて死んでいく若鳥

ハシボソミズナギドリは最も長距離の渡りをする鳥です。日本の冬にあたる時期に、オーストラリア南部の島でひなを育てます。ひながある大きさまで成長すると、親鳥は飛べないひなを残して旅立ちます。向かう先は、はるか北のオホーツク海やベーリング海。残されたひなは体に蓄えた栄養で成長し、親鳥より1か月ほど遅れて旅立ちます。若鳥の群れが日本付近を通るのは5・6月ごろ。毎年このころ市内の砂浜には、渡りの途中で飢えて死んだ若鳥の死骸が打ち上げられ、多い年には1km当たり数十羽にもなります。

(旭市文化財審議会委員 齊藤敏一)

イキイキ

あさひっ子



こうのすけ

浩之介くん

平成25年7月24日生

両親＝秋山正之さん

房枝さん〔二〕

食べるの大好き！走るの大好き！
毎日元気一杯な男の子です。

ぜんた

善太くん

平成25年8月8日生

両親＝今関太さん

百代さん〔新町〕

レーズンパンとトマトが大好き！
すべり台が得意だよ。



そうご

総悟くん

平成26年3月17日生

両親＝小島玄太さん

綿乃さん〔口〕

パパとあそぶのが大好き！いつも
ニコニコ元気いっぱいです！



“イキイキあさひっ子”を大募集

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595 旭市二の1920・☎62-8070)へ。対象は小学校入学前の幼児です。申込用紙は旭市保健センター、飯岡保健センター、旭市子育て支援センターハニカム、子育て支援課、秘書広報課、各支所にあります。

編集こぼれ話

杉村さん、優勝おめでとうございます。私が杉村さんの撮影をするのは、今回が2回目。前回の撮影は広報担当1年目だった平成23年の8月で、杉村さんはまだ小学生でした。全国・関東大会などに出場した小中学生の1人として紹介した、平成23年9月1日号。読み返してみると、先輩たちとの編集作業が思い出されます。この4月で異動された(Y)先輩。「こぼれ話でお別れのあいさつを書けないのが……」と話していましたね。この場を借りて紹介させていただきました。(コ)

杉村さん、優勝おめでとうございます。私が杉村さんの

くらしのカレンダー

1日(月) 人権擁護委員の日

水道週間(～7日(日))

4日(木) 歯と口の健康週間(～10日(水))

7日(日) 旭市消防操法大会(午前8時～ 旭文化の杜公園)

15日(月) 県民の日

21日(日) 父の日